国民民主
KOKUMIN MINSHU PRESS
大分県連版
2024年3月 NO.23

連絡先：国民民主党大分県総支部連合会
〒870-0022 大分市大手町2丁目2-7 田原ビル201
TEL:097-535-7812 FAX:097-535-7813

発行：国民民主党 国民民主PRESS 編集部 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3 Nagatacho GRiD 4F / TEL：03-3593-6229 / HP：new-kokumin.jp / 通常号 定価1部200円（税込み）・年間購読料 1,000円（送料含む）隔月第4金曜日（偶数月）発行

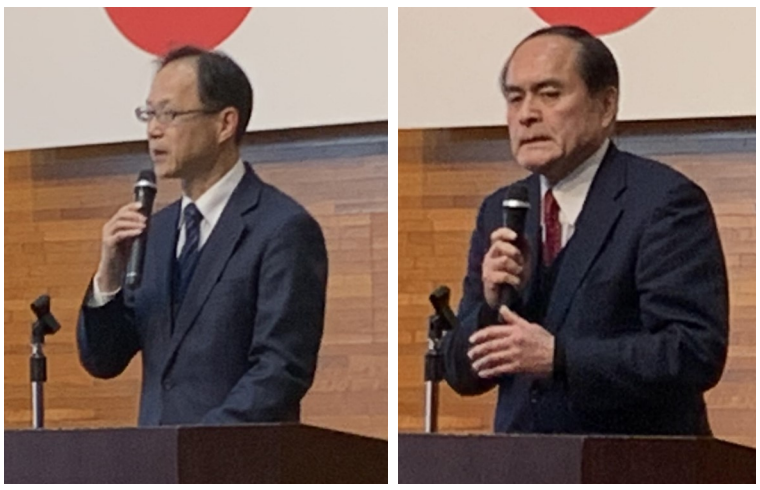
国民民主党 大分県連 2024年定期大会 3月9日(土)

3月9日(土)、大分市のソレイユ(大分県労働福祉会館)で「国民民主党大分県連2024年定期大会」を開催しました。

県連を代表して福崎智幸・県連代表が挨拶を行った後、来賓を代表して佐藤樹一郎・大分県知事、吉田忠智・立憲民主党大分県連代表、石本健二・連合大分会長の3人から、党本部からは長友慎治・衆議院議員(宮崎2区・比例九州ブロック)から挨拶を頂きました。

長友議員は「各党の中でいち早く『給料を上げる』ことを政策の一番に掲げるなど、これまで国民民主党は現実的な政策提言を続けてきた。自民党の裏金問題で国会の審議は混乱しているが、これからも国民民主党は『正直な政治』をつらぬいていく」と挨拶しました。

続いて山野内眞人・県連幹事長の進行で議案審議を行い、「給料を上げる。国を守る。」『正直な政治』をつらぬく。」をメインスローガンに、来年10月までに行われる次期衆院選と来年7月に予定されている参院選において県内の比例得票数の獲得目標をそれぞれ6万票に設定することなどを盛り込んだ「2024年度活動方針」を全会一致で決議しました。



来賓挨拶を行う佐藤樹一郎・大分県知事（写真左）と吉田忠智・立憲民主党大分県連代表（写真右）

大分県連を代表して開会挨拶を行う福崎智幸・県連代表

阿部邦彦氏を公認 ―大分市議選―

3月9日(土)、県連定期大会に先立って行われた第25回県連総務会において、来年2月に予定されている大分市議会議員選挙の公認申請について協議を行い、UAゼンセン大分県支部の常任で県連総務委員である阿部邦彦氏(52)を公認候補とすることを決定しました。

阿部氏は旭化成メディカル労組の出身。県連事務局長に就任する人事もあわせて承認されました。

阿部邦彦 新県連事務局長

衆議院議員 長友慎治 国政報告会

3月9日(土)に大分市のソレイユ(大分県労働福祉会館)で行われた「国民民主党大分県連2024年定期大会」において長友慎治・衆議院議員の国政報告会を開催しました。

現在、長友議員は衆議院で予算委員会・農林水産委員会を掛け持ち、政治倫理審査会に所属し、本会議でも会派を代表して質問するなど、「一年生議員」ながら、党務と合わせて八面六臂の活躍をされています。

異例となる土曜日に2024年度予算案が衆議院を通過したことについて、長友議員は「予算委員会では、年度内に予算を成立させるために十分な審議時間を経ないまま、強行採決が行われた」と政府・自民党の姿勢を強く批判しながらも、一方で「働き方改革に逆行するような不毛な日程闘争も国民に理解されるわけがない。永田町の常識は非常識だとあらためて感じた」と話しました。

また、自身が宮崎県連代表であるとともに熊本県連の代表でもあることから、地下水と草原保全のために保安林解除を求める南阿蘇村の要望を予算委員会で取り上げた例を紹介しながら「自分は比例九州ブロックの選出でもある。これからも九州の地域の声を国会に反映させていきたい」と話し、宮崎県連で女性議員を増やす活動を立ち上げたことにも触れ、「国会議員だけでなく、地方自治体でも女性議員が増えるよう注力していく」と話しました。

質疑応答では会場から様々な質問が飛び、活発な議論が交わされて実りある報告会となりました。

国政報告を行う長友慎治衆議院議員